

6. 千葉市あんしんケアセンター花見川（H30年4月～H31年3月）

センター所在地である花見川団地は昭和43年に建てられた大型団地（5280世帯）であり、建設当初の入居者が高齢となり担当圏域でもトップの高齢化率です。相談内容についても高齢化に伴う認知症に関する相談が多く、地域で活動している支援者（自治会・民生委員・ボランティア）の高齢化も問題となっています。

30年度より高齢化率が高く認知症の相談が多い身近なエリアである花見川団地に向け「認知症になっても安心して生活できる団地を目指す」をテーマに2～3年計画で段階的に啓発活動を行っています。30年度は地域住民の認知症に対する正しい理解、見守り、相互支援の意識を高めるために民生委員、自治会に対して認知症サポーター養成講座を開催。また、認知症カフェも手探りの状態から2回開催することが出来ました。今年度もUR関係者や商店街組合を中心に認知症サポーター養成講座の開催を計画し、認知症カフェについては「開催マニュアル」を作成し開催の安定化を図りました。課題として団地外の地域に対して企画が不足しているため、他の自治会や周辺地域にも働きかけを行い「あんしん花見川」の周知を図りました。

今年度も高齢者が安心して生活を継続できるよう、ワンストップサービスの拠点として様々な相談に対応していくと共に、多職種連携会議を中心に多職種との連携強化や社会資源の把握と開拓を進めていき、地域包括ケアシステムの構築に向け活動して参ります。

職員の配置は、保健師1名、看護職員1名、社会福祉士3名、主任介護支援専門員1名、介護支援専門員1名、事務員1名となっております。

1) 総合相談支援業務

今年度の総合相談対応件数(延)は4149件となり、内訳では新規総合相談件数は961件、継続相談件数(延)は3188件となっています。前年度と比較し、新規相談件数は58件増加、継続相談件数(延)は374件減少しました。

①総合相談件数

(予防プラン作成に関するものは除く)

新規相談者数	961
継続相談件数(延)	4149

②センター利用方法（アプローチ方法）

電話	2231
来所	935
その他（訪問等）	983
合計	4149

③対象者の世帯状況及び年齢

	65歳未満	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	不明	計
独居	17	14	46	47	93	76	18	311
高齢者世帯	0	17	24	106	101	69	14	331
同居世帯	24	15	28	48	57	56	17	245
(日中独居)	0	1	4	7	6	8	1	27
その他	1	1	2	2	1	6	2	15
不明	5	4	8	5	7	8	22	59
合計	47	51	108	208	259	215	73	961

(日中独居を除く)

④相談内容別件数（重複あり）

	認定済	申請中	非認定	不明	合計
介護保険制度・サービスに関する事	1008	493	537	22	2060
施設入所に関する情報提供等	109	27	28	2	166
経済問題に関する事	78	16	79	0	173
医療・保健に関する事	269	172	226	10	677
認知症等・精神疾患に関する事	292	123	315	21	751
成年後見制度に関する事	51	4	20	0	75
虐待（疑い含む）に関する事	37	1	14	2	54
保健福祉制度・サービスに関する事	100	36	70	4	210
個人の悩みに関する事	85	9	100	9	203
ケアマネ支援	189	10	2	0	201
安否確認（見守り）	67	17	85	13	182
家族間の問題に関する事	65	7	47	2	121
住居に関する事	34	15	11	4	64
地域の通いの場・地域資源に関する事	28	10	41	1	80
エンディングサポートに関する事	7	2	9	2	20
その他	375	166	226	37	804
合計	2794	1108	1810	129	5841

2) 権利擁護業務

高齢者の権利や財産を守り、住み慣れた地域での生活を支援する為に制度の活用や虐待に対する支援を行いました。区内社会福祉士会では定例会議を開催し、虐待事例の検討検討やテーマを設定し意思表示が出来ない利用者の対応方法を学びました。虐待についての相談では、相談（通報）を受けてから初期対応（事実確認等）や経過確認など、継続的かつ長期的な対応を行っております。又、認知症や精神疾患等についての相談でも、信頼関係の構築など継続的な関わりを要する為、権利擁護業務は相談受付から課題終結までに時間を要する業務となっています。

3) 包括的・継続的ケアマネジメント業務

主任ケアマネの会を中心に今年度も3部会の活動を通じ地域ケアマネの資質向上を目的に研修会を開催する事ができました。合同連絡会についても、地域ケアマネを対象に介護予防ケアマネジメントや医療連携をテーマに研修会を開催する事ができました。多職種連携会議についても、花見川区6センター合同で計画通り年2回開催できています。今後は圏域内での開催についても検討の必要性があります。

①花見川区合同連絡会

	参加者数	講演内容
第1回 (h30.6.27)	86名	予防プラン/委託業務について
第2回 (h31.3.15)	71名	医療連携/地域資源について

②主任ケアマネ・ケアマネの集い

	回数
主任ケアマネの会	11回/年
ケアマネの集い	2回/年

③地域ケア会議

会議名	回数	検討項目
多職種連携会議①h30.7.24 ②h31.2.13	2回	①「精神障害者の地域移行について」 ②「あなたの理想の90歳ってどんなかな？」
個別地域ケア会議(h30.12.23)	1回	大型団地住民の高齢化による「階段当番」について
地域ケア会議(h31.2.23)	1回	花見川団地の高齢化に伴う地域課題について

4) 介護予防ケアマネジメント業務

総合相談の内容別件数からみると、介護保険制度に関する相談が2060件と全体の35%を占めています。介護保険申請から関わるケースも多く、認定が決まりケアプラン作成の依頼があっても、要支援1・2認定者のケアプラン担当については、三職種は20件以下と制限があり、所内プランナーも担当件数に空きがないため、地域の居宅介護支援事業所に委託協力を求めながら対応しています。

①ケアプラン作成件数

	新規
あんしんケアセンター作成	18
委託事業所作成	125
委託事業所数(今年度新規)	8

②介護給付費請求件数

	件数
あんしんケアセンター分	694
居宅介護支援事業所委託分	3225

5) その他の活動

これまでと同様に、担当圏域内に所在するグループホーム及び地域密着型通所介護で開催されている運営推進会議に出席しました。

①グループホーム (GH) 運営推進会議 (4カ所)

	出席依頼	出席
GH アリス	0	0
GH ゆう希苑	3	3
GH リブ花見川	4	4
GH ガーデンコート花島	3	3

②地域密着型通所介護 (DS) 運営推進会議 (7カ所)

	出席依頼	出席
ぶらりっと	2	2
茶話本舗 COCOYORI 長作	0	0
きぶしの杜	1	1
元気庵 作新台店	2	2
パル	0	0
リブ花見川	2	2
ヤックス花見川	1	1

地域の高齢者やその家族、関係機関等からの身近な相談窓口としての周知を図るため、関係会議や地域のサロン等に参加し啓発活動や地域の要請に応じ出張ミニ講座等も行なっています。また、認知症の企画として「認知症カフェ」を継続開催し地域への認知度も高まりつつあります。

③民生児童委員会議

開催日時	地区	会場
H30. 5. 13 9:30～	花見川211地区	花見川公民館
H30. 5. 6 11:00～	花見川212地区	長作公民館
H30. 5. 8 19:00～	花見川213地区	花見川第二集会所

④イベント等の行事参加

・花見川いきいきセンター相談フェスタ (2回/年)
・RUN伴千葉2018リレー (1回/年)
・よろず相談会 (2回/年)
・花見川区民祭り (10/28)
・花見川団地商店街夏祭り (7/28. 29)
・わくわくヘルスアップ花見川 (11/11)

⑤地域活動

花見川団地ふれあい喫茶	11回/年
地蔵作いきいきサロン	12回/年
花島町お楽しみ会	4回/年
みどりやおしゃべりひろば	8回/年
吹き矢サークル	8回/年
楽々体操	9回/年
はつらつ元気体操	3回/年

⑥シニアリーダー体操活動支援

団体名	支援回数
シニアリーダー長作	7回
シニアリーダー花見川	24回

⑦ミニ講座

対象団体	日付	内容
作新台地区住民	H30. 8. 16	介護保険制度について
花見川団地住民	H30. 10. 18	介護保険制度について
213地区民生委員	H30. 12. 1	詐欺被害について
サンハイツ住民	H31. 2. 25	介護保険制度について

⑧実習生受け入れ

実習団体	日付	人数	実習内容
聖路加国際大学	H30. 9. 25	1名	認定看護師教育課程(認知症看護)見学実習
東京情報大学	H30. 7. 6	3名	高齢者看護学実習
東京情報大学	H30. 7. 12	3名	高齢者看護学実習

⑨まんだりいな かふえ (認知症カフェ)

日時	場所	参加者数
H30. 7. 24 14:00～16:00	団地内 絆	20名
H31. 3. 13 14:00～16:00	団地内 LDK	24名